

■使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト: CASBEE北九州_2016(v3.0)

1 建物概要

建物名称	北九州ストックポイント施設	BEE	0.5	BEEランク	B-	★★
------	---------------	-----	-----	--------	----	----

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.0 /5		ふつう 
2 地球温暖化対策の推進	3.0 /5		ふつう 
3 豊かな自然環境の確保	1.3 /5		がんばろう 
4 高齢社会への対応	3.0 /5		ふつう 
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)
1 循環型社会への貢献	スコア平均 3.1
リサイクルに関する配慮	長寿命化に関する配慮
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 2.8
スコア 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア 3
スコア 3 対応性・更新性	スコア 3.4
＜自由記述＞ リサイクル材の採用	＜自由記述＞ 主要配管3種のうち、2種以上にC以上を使用
2 地球温暖化対策の推進	スコア平均 3.0
省エネ・省資源に関する配慮	節水に関する配慮
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3
スコア 1.1 節水	スコア 3
＜自由記述＞ 生産エリアのみのため対象外	＜自由記述＞ 水栓に節水コマを設置
3 豊かな自然環境の確保	スコア平均 1.3
生態系保全に関する配慮	緑化に関する配慮
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1
スコア 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 1
スコア 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 2
＜自由記述＞ 植栽計画なし	＜自由記述＞ 植栽計画なし
4 高齢社会への対応	スコア平均 3.0
バリアフリーに関する配慮	主な指標
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級
スコア 3	建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅: BEIm値、住宅: -
＜自由記述＞ バリアフリー新法の建築物円滑化基準の項目に配慮した計画	外構緑化指數 建物緑化指數
	0 % 0 %



: 入力欄



: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北九州ストックポイント施設	階数	地上1F
建設地	北九州市小倉北区西港町94番地の	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年5月10日
敷地面積	15,494 m ²	作成者	株式会社 総企画設計
建築面積	6,809 m ²	確認日	2022年5月10日
延床面積	7,029 m ²	確認者	株式会社 総企画設計

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 0.5 ★★		30%: ★★★★★ 60%: ★★★★ 80%: ★★★ 100%: ★★ 100%超: ★		Q2 サービス性能	
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★		標準計算		Q3 室外環境(敷地内)	

2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質	Q のスコア = 2.2
Q1 室内環境	Q1 のスコア = 0.0
Q2 サービス性能	Q2 のスコア = 3.0
Q3 室外環境 (敷地内)	Q3 のスコア = 1.5
LR 環境負荷低減性	LR のスコア = 2.7
LR1 エネルギー	LR1 のスコア = 2.5
LR2 資源・マテリアル	LR2 のスコア = 3.0
LR3 敷地外環境	LR3 のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項			
総合		その他	
景観に配慮した外観とする。		特になし	
Q1 室内環境		Q3 室外環境 (敷地内)	
評価対象室なし		防犯性に配慮し、死角空間を無くすよう努めた。	
LR1 エネルギー		LR3 敷地外環境	
エネルギー消費を管理する計画とした。		リサイクル材を採用し、地球温暖化へ配慮した計画とした。	
Q2 サービス性能		LR2 資源・マテリアル	
設備機器の更新性に配慮した計画とする。		環境に配慮しフロンを含まない発泡剤を採用する。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
北九州ストックポイント施設

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
■欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目	実施設計段階	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境						
1 音環境		-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-	-
1.2 遮音		-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能		-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-
1.3 吸音		-	-	-	-	-
2 溫熱環境		-	-	-	-	-
2.1 室温制御		-	-	-	-	-
1 室温		-	-	-	-	-
2 外皮性能		-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		-	-	-	-	-
2.3 空調方式		-	-	-	-	-
3 光・視環境		-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	-
1 昼光率		-	-	-	-	-
2 方位別開口		-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		-	-	-	-	-
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-
1 昼光制御		-	-	-	-	-
3.3 照度		-	-	-	-	-
3.4 照明制御		-	-	-	-	-
4 空気質環境		-	-	-	-	-
4.1 発生源対策		-	-	-	-	-
1 化学汚染物質		-	-	-	-	-
4.2 換気		-	-	-	-	-
1 換気量		-	-	-	-	-
2 自然換気性能		-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-	-
4.3 運用管理		-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		-	-	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.43	-	-	3.0
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	1.00	-	-	-
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	-	-	-
3 パリアフリー計画		-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-	-
1 広さ感・景観		-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-
3 内装計画		-	-	-	-	-
1.3 維持管理		-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-	-
1 軀体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性		2.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		1.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	-

主要配管3種のうち、2種以上にB以上を使用しEは不使用

3 対応性・更新性	3.4	0.30	-	-	3.4
	5.0	0.30	-	-	
	5.0	0.60	-	-	
	5.0	0.40	-	-	
	3.0	0.30	-	-	
	2.6	0.40	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
	1.0	0.20	-	-	
	3.0	0.10	-	-	
	3.0	0.10	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	3.0	0.20	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
	2.0	0.40	-	-	2.0
	1.5	0.30	-	-	1.5
	2.0	0.50	-	-	
	1.0	0.50	-	-	
	-	0.57	-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性	-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー	-	0.40	-	-	2.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = -	-	-	-	
4 効率的運用	2.5	1.00	-	-	2.5
集合住宅以外の評価	2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル	-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護	3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水	3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減	2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減	2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避	4.0	0.70	-	-	
1 消火剤	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境	-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮	-	-	-	-	
2 地域環境への配慮	2.3	0.50	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制	2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮	3.1	0.50	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
1 騒音	3.0	1.00	-	-	
2 振動	-	-	-	-	
3 悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制	3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	